



小樽双葉進路だより

進路指導部

令和6年10月16日

第21号 発行

大学で活躍する先輩！

令和3年3月に本校特別進学コースを卒業して、小樽商科大学に進学した松本駿さんが、小樽商科大学の学校案内に写真と記事が掲載されました(p.45)ので、紹介します。

(後列一番右が松本先輩です)



松本 駿

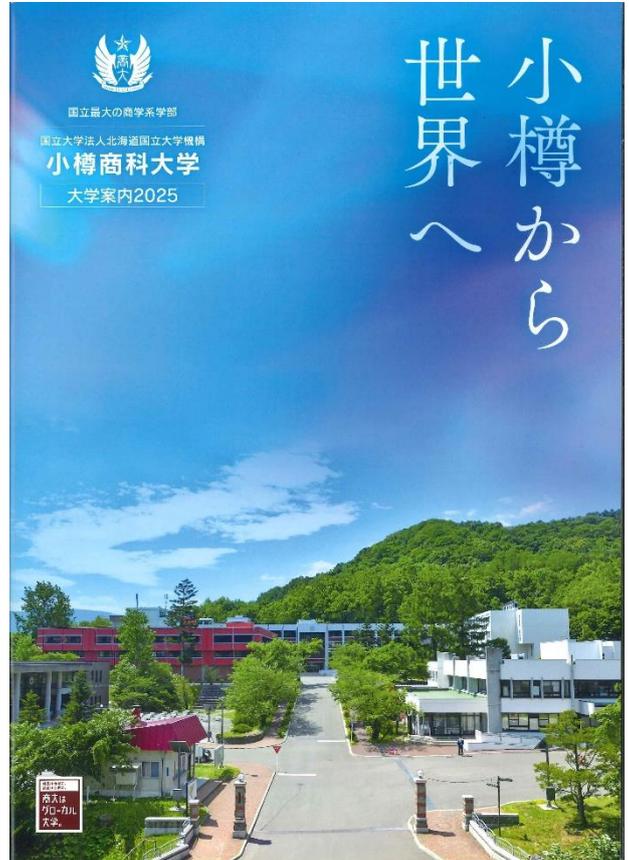
商学科グローバルマネジメントコース/3年
小樽双葉高等学校出身

グローバルコースの受験を決めた理由は何ですか？

高校生の頃から留学をしたいと思っていて、留学に関して経済的な面でも手厚い支援を受けることのできるコースだと思い選びました。また、小規模な大学だからこそ、留学生を含めて個々人と深く交流ができる点も魅力に感じました。

グローバルコースではどんなことを勉強していますか？

実際に海外留学もしますが、留学生とともに専門科目を英語で受講するので、4年間を通して常に外国の方とコミュニケーションが取れる環境があるのが特徴です。中でもビジネス経済学Ⅰという講義では、経済学の基礎から応用までを留学生とともに学びます。講義中は各々の国の経済的視点に基づいた発言や議論が多く、大変面白い授業の一つです。



《松本先輩から在校生へのメッセージ》

小樽商科大学グローバルマネジメントコース3年の松本駿です。

私は、高校時代にやりたいと思っていたことが、今自由にできてとても充実しています。留学したり、日本に来ている留学生と共同生活をしたり、トランポリンという新しいスポーツにも取り組んでいます。

これから受験が近づいて苦しい時期かもしれませんが、みなさんが自分のやりたいことに向かって一生懸命頑張る姿を応援しています。自分の夢を信じて、頑張り続けてください。

《小樽商科大学グローバルコースとは？》(小樽商科大学 HP より)

「グローバルコース」は、地球規模の視野で学び、異文化理解に優れ、卓越した言語コミュニケーション能力を活用して、複雑化する地域社会の諸問題を解決するための資質を有す人材を育成することを目的に、2021年度から新たに設置したコースです。

◎カリキュラムの特徴

4年間を通じた徹底的なグローバル教育

初年次からゼミナール系科目を配置し、グローバルなビジネス社会で通用する人材を4年間を通じて育成します。

留学を組み込んだカリキュラム

入学猶予を伴うギャップイヤープログラムによる留学のほか、海外研修プログラム（事情科目）や、交換留学制度による長期の留学など、在学中に様々な形で留学することを想定しています。

留学生とともに英語で学ぶ科目を豊富に用意

多様な文化・価値観を持つ留学生とともに英語で意見を交わしながら学びあい、真のグローバルな人材を目指します。

◎選抜方法

グローバル総合入試（昼間コース）		
区分	一般枠	理系枠
定員	15名	5名
出願要件	・本学が指定する民間の英語資格・検定試験を受検し、一定以上のスコア又は等級（CEFRの段階別評価においてB1以上）であること	・本学が指定する民間の英語資格・検定試験の受検 ・数学Ⅲの履修
共通テスト	課さない	
個別学力検査等	第一次選抜／書類選考（調査書、学修計画書、志望理由書、民間の英語試験のスコア） 第二次選抜／英語によるグループディスカッションと英語を主体とした個別の口頭試問	
その他必要書類	調査書	

※CEFRの段階別評価においてB1以上とは、**英検2級上位合格～準1級合格程度**の英語力です。



薄い帯：各級のCSEスコア算出範囲
濃い帯：大学入試英語成績提供システムにおける各級のCEFR算出範囲

（英検HPより転載）

グローバルコースに入るためには、**グローバル総合入試**を受験しなければなりません。しかし、松本先輩のように大学進学後は留学して国際的な学びをしたいという人は、**英語を武器**に入試に向かうことが可能です。英検準1級～2級上位合格は低いハードルではありますが、英語が得意で英語で入試を勝負したいと考えている場合は、チャレンジしてもよいと思います。また、**理系の人も**英語に自信があればグローバル総合入試にチャレンジ可能です。**自分の得意を伸ばして**、松本先輩に続いて、商大で国際的に活躍しましょう！